



久永良一

### 林業で地域経済の再生を

**Q 森林** 林業振興による地域経済と森林の再生には、地域材の利用を徹底し、外需の拡大が重要。また地域材利用を大きくする組織が必要。今年度内に会議をもっては。

**A 部長** 市、商工会議所、森林組合による会議をもち、組織や人員等について検討したい。



林業は成長戦略の1つの柱

### 観光による

### 地域経済活性化を

**Q 観光** 地域経済活性化型観光へ

の転換に向けて、魅力的な町並み景観づくりと出店などの整備促進が必要。この2つを専門的に取り組む担当者の配置が必要では。

**A 部長** 人材の確保及び配置は地元や関係団体のコンセンサスを得た上で対応したい。

### 「学びの共同体」で 学校改革が進む

**Q 教育** 牛久市では「学びの共同体」に全校が取り組み、問題行動が激減、学力はトップレベルに向上した。津山でも全校で取り組みむべき。教育長の決意は。

**A 教育長** 各学校のこれまでの取り組みを大切に、「学びの共同体」の理論についても引き続き推奨したい。講演会は全員研修会等で行っており、牛久市教育長の講師の件は検討したい。

### 第5次総合計画について

**Q 計画** 平成28年度から37年度までの10カ年計画である第5次総合計画の策定に着手し、今後まとめていく重要な時期を迎えている。目指す本市の将来像について市長の所信は。

**A 市長** 市民目線を第一に、人口減少、少子高齢化にあっても一人一人が将来の津山市に夢と希望を持ち、豊かに住み続けることができるまちづくりの未来図として策定したい。

**Q 計画** 第5次総合計画の策定スケジュール、策定手法、策定体制は。

**A 特別理事** 市長の諮問機関である審議会を昨年10月に立ち上げ、27年度にかけて10回程度開催を計画。また1月から3月にかけては、市民や各団体等から



野村昌平

ご意見、ご提案をいただくため、地区別懇談会や分野別懇談会を予定している。今後はアンケートや市民満足度調査を行い、8月ごろには基本構想案をまとめ、審議会と議会の意見をいただき、パブリックコメントを経て定めたい。基本計画、実施計画の策定期限は27年度末を目指している。策定体制は幹事会とワーキンググループがあり、幹事会は政策調整室以下17名、ワーキンググループは課題ごとに所属長の推薦により決定している。



第5次総合計画審議会